

インフラDX News

令和7年度 第一四半期(4月-6月)

| 発行日: 令和7年7月23日

目次／今月の注目トピック

 令和7年度 第一四半期

4/17	国土交通省インフラ分野のオープンデータの取組方針策定	3
4/18	「i-Construction 2.0」の2025年度の取組予定（記者発表）	4
6/2	第5回「宇宙を目指す建設革新会議」	5
6/17	BIM/CIM推進委員会	6
6/18	インフラDX大賞の応募開始 ★ 注目トピック	7
6/27	ICT導入協議会	8
6/30	第11回 建設施工における現場作業支援のDXに関するWG	9

 **注目トピック**: 星印とハイライト表示のあるトピックは今月特にご確認いただきたいイベントです。

概要

今年6月11日に国土交通省DX推進本部(本部長:国土交通大臣)が開催され、国土交通省DXビジョンと「インフラ分野のオープンデータの取組方針(4月記者発表)」の策定を報告しました。国土交通省が保有するデータ(システム)はAPIによって国土交通データプラットフォームと連携していく方針を確認しました。

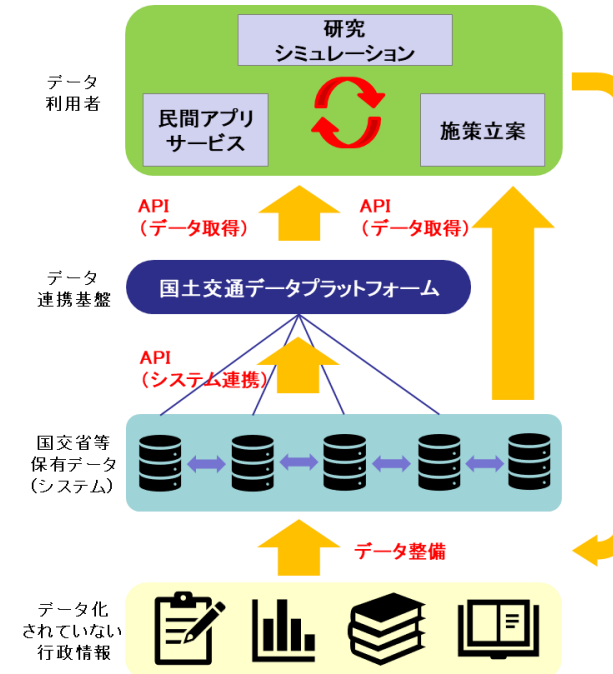
主なポイント

- 取組方針では、データの拡充、蓄積、連携を進め、そのデータを活用してユースケースが創出されることを標榜。
- 今後の取組として、「オープンイノベーションの推進」「業務の効率化、施策の高度化」「デジタル人材の育成」に加え、「生成AI(大規模言語モデル)の利用」についても明示。

主な決定事項

- 国土交通省として、インフラ分野のオープンデータ化を進めることを明記。
- 国土交通省内のデータベースとの連携を進め、自治体や民間が保有するデータとも連携することで社会全体のイノベーション創出を推進する。

<目指す姿>



取組方針

- ① 社会全体のイノベーション創出が推進されるよう、利用者のニーズ等を踏まえオープンデータ化に努める。
- ② オープンデータにあたっては、利用者の利便性が確保されるよう機械判読に適した構造及びデータ形式で公開する。
- ③ 国民誰もがウェブサイトで容易に必要なデータを検索できる環境を整備するとともに、API等により効率的なデータの提供を推進する。

(注)

- ・ 国土交通DPFと連携した場合は、上記①～③を満たすこととなる
- ・ 新たなシステムの構築にあたって、国土交通DPFとの連携を検討することとする。
- ・ 各システムからデータ利用者に対し、API等で直接データ提供も推奨

関連リンク・参考資料(等)

- ・ [「国土交通省インフラ分野のオープンデータの取組方針」を策定](#)
- ・ [概要資料ダウンロード](#)
- ・ [国土交通DPF×SIP連携実証の公募](#)

概要

2024年4月よりi-Constructionの取組を加速し、建設現場のオートメーション化に取り組む「i-Construction 2.0」を進めています。

i-Construction 2.0公表後1年となる本年4月、1年目の取組成果をとりまとめるとともに、2025年の取組予定の概要を公表しました。

2024年度の主な取組成果

- 実工事における自動施工の実装、ICT施工Stage II 試行工事の実施
- 2D図面と3Dモデルの照査について86件で試行を実施。
- ARを活用した土工の出来形確認にデジタル技術を活用し、視覚的に見える化。

2025年度の主な取組予定

- 自動施工をトンネル工に拡大、ICT施工Stage II の本要領案策定
- 2D・3D間の整合確認方法のルール策定、3Dモデルの契約図書化に向けた試行、BIM/CIM積算の工種拡大
- ARを活用した出来形管理に関する要領を順次改定に着手

i-Construction 2.0 2025年の主な取り組み



○過年度の取り組み ○2024年度の取り組み ○2025年度の取り組み

3つの オートメーション化		①施工のオートメーション化		②データ連携のオートメーション化			③施工管理のオート メーション化
個別施策 フェーズ	施工データ の活用 (ICT施工 Stage II)	遠隔施工	自動施工	BIM / CIM			デジタルデータを 活用した 監督・検査等
				3D・2D 連動(照査)	3Dモデルの 契約 図書化	積算	
現場試行 試行要領	試行工事要領作成 ・データ活用による 現場マシナントに 関する実施要領 (案)		安全ルールの策定 ・自動施工における 安全ルール策定案 ・自動化技術の 現場検証(21件) ・海上における作業 船の自動・自律化 現地試験		試行工事要領作成 ・3次元データを契約 図書とする試行ガイド ライン(案)	試行業務要領作成 ・BIM/CIM 積算試行 要領(案)	
試行工事・業務	・試行工事の実施 ・R6 45件 ・要領の検証結果 取りまとめ・報告	・20件実施	試行工事の実施 ・R6 4件(土工等) ・R7 工種拡大 (トンネル他)	試行業務の実施 ・R6 86件 ・R7 試行拡大	試行業務の実施	試行業務の実施 ・R6 11件 (積算下部) ・R7 工種拡大	試行工事の実施 ・R6 13件
本格運用のための 要領策定・改定	・本要領の策定	・導入拡大 のための 要領策定		・本要領の策定			本要領の改定 受注者提案に応じて 順次要領改定
本格適用							
活用促進							

関連リンク・参考資料(等)

報道発表資料:「i-Construction 2.0」の2025年度の取組予定をまとめました- 国土交通省

概要

国土交通省では、地上の建設事業で導入・開発されている無人建設技術について、月面拠点建設に適用する研究開発を推進しています。「宇宙を目指す建設革新会議」を6月2日に開催し、令和7年度の個々の研究開発とともに事業全体の推進方策を議論しました。

主なポイント

- 公募・選定を経て、建設企業、機械メーカー、大学等による12のプロジェクトについて研究開発を推進している。
- 月面拠点建設へ適用するための技術開発を進めるとともに、開発した技術について地上の遠隔化・自動化建設へ波及させる。

会議の内容

- 本年度の12プロジェクトの研究開発内容について
- 地上の建設技術への波及について
- プロジェクト間の連携を高めさらなる研究開発の推進



関連リンク・参考資料(等)

- [建設施工・建設機械:宇宙建設革新プロジェクト - 国土交通省](#)
- [宇宙建設革新プロジェクト 動画\(3m21s ver\)](#)
- [宇宙建設革新プロジェクト 動画\(20s ver\)](#)

6/17 第14回BIM/CIM推進委員会

令和7年度 第一四半期

委員会概要

国土交通省が主催するBIM/CIM推進委員会が6月17日に開催されました。行政機関、業界団体、学術機関の有識者・代表者が参加し、建設分野のBIM/CIM推進について議論されました。

主な議題

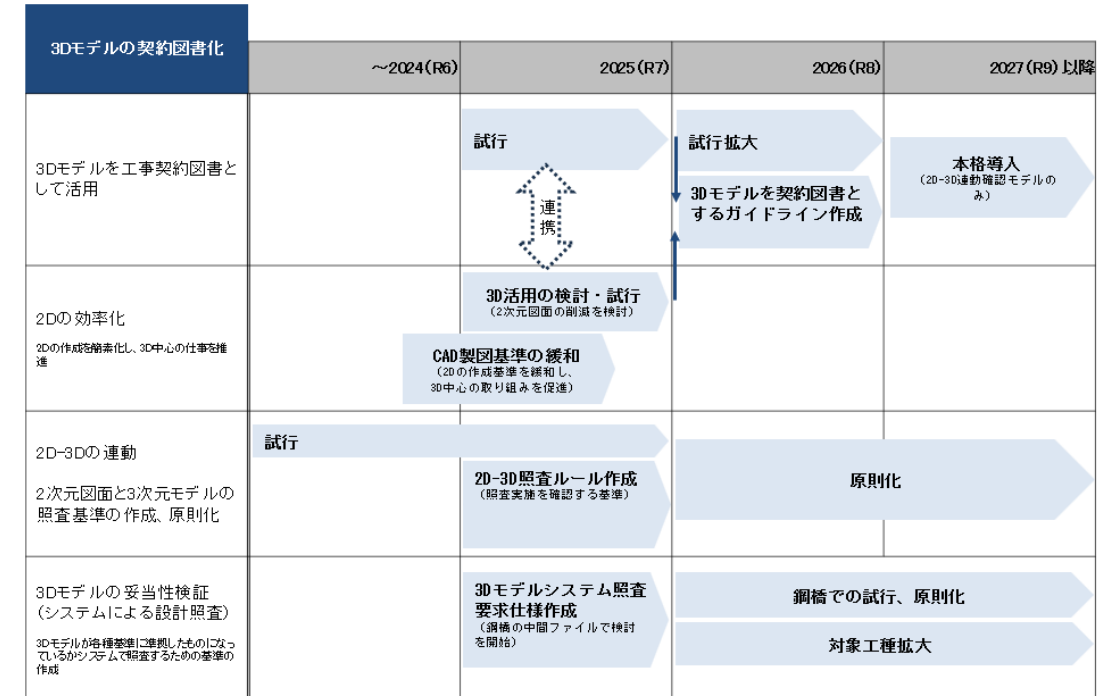
- 令和7年度以降のBIM/CIMの取組の進め方
- 建築分野における検討 WG(建築 BIM 推進会議)の活動状況
- 港湾分野の活動状況

主な決定事項

- 3次元モデルの工事契約図書化のロードマップ
- 3次元モデルの属性情報を積算に活用する取組(BIM/CIM積算)のロードマップ
- 上記ロードマップに記載の今年度の取組事項

ロードマップ(案) 3次元モデルの工事契約図書化

国土交通省
第14回 BIM/CIM推進委員会
資料1 R7.6.17



5

関連リンク・参考資料

- [技術調査:第14回BIM/CIM推進委員会\(令和7年6月17日\) - 国土交通省](#)

6/18

インフラDX大賞の応募開始

注目トピック

令和7年度 第一四半期

概要

国土交通省は、建設現場の生産性向上に関するベストプラクティスの横展開に向けて、「インフラDX大賞」を実施しています。令和7年度も引き続き、インフラの利用・サービスの向上や建設業界以外の取組についても含めて広く募集することといたします。積極的なご応募をお待ちしております！

募集対象

- インフラ分野において、データとデジタル技術を活用して、建設生産プロセスの高度化・効率化、国民サービスの向上、組織の働き方や文化・風土の改革等につながる優れた実績をあげた取組
- 特に、オープンデータの利活用、地方公共団体等でのインフラ分野のDX推進施策や「i-Construction 2.0」の取組につながる、BIM/CIMや、ICT施工 Stage2) (機械の稼働データや映像データなどの現場データ活用等による生産性の向上)等による省人化、生産性の向上の取組

応募スケジュール

6/18～9/18	応募期間
9月下旬	動画投票期間
12月	受賞者決定
来年1月	表彰式

応募・問い合わせ

- Webサイト:
https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001213.html
- メール: hqt-i-con_consortium@gxb.mlit.go.jp



令和7年度
インフラDX大賞
— 第9回 —
i-Construction 2.0

**インフラ分野のDXに関する
優れた取り組みを表彰**

★技術開発者も要注目！—インフラDX大賞受賞がNETIS“有用な新技術”への登録につながります—

募集期間 令和7年6月18日(水)～9月18日(木)

【お問い合わせ先】
国土交通省大臣官房参事官(イノベーション)グループ 課長補佐 西上
直通: 03-5253-8120 (代表: 03-5253-8111) (内線 22339)
国土交通省大臣官房公共事業調査室 課長補佐 佐藤
直通: 03-5253-8258 (代表: 03-5253-8111) (内線 24296)
■受付対応時間 月曜日～金曜日 09:30～12:00、13:00～17:00

募集内容など詳細はこちら

令和6年度 インフラDX大賞の
受賞者はこちら

i-Construction

6/27 第21回ICT導入協議会

令和7年度 第一四半期

協議会概要

インフラ分野におけるICT技術の導入・推進を目的とした「ICT導入協議会」が6月27日に開催されました。産官学の代表者が参加し、施工のオートメーション化の推進に向け議論が行われました。

主な議題

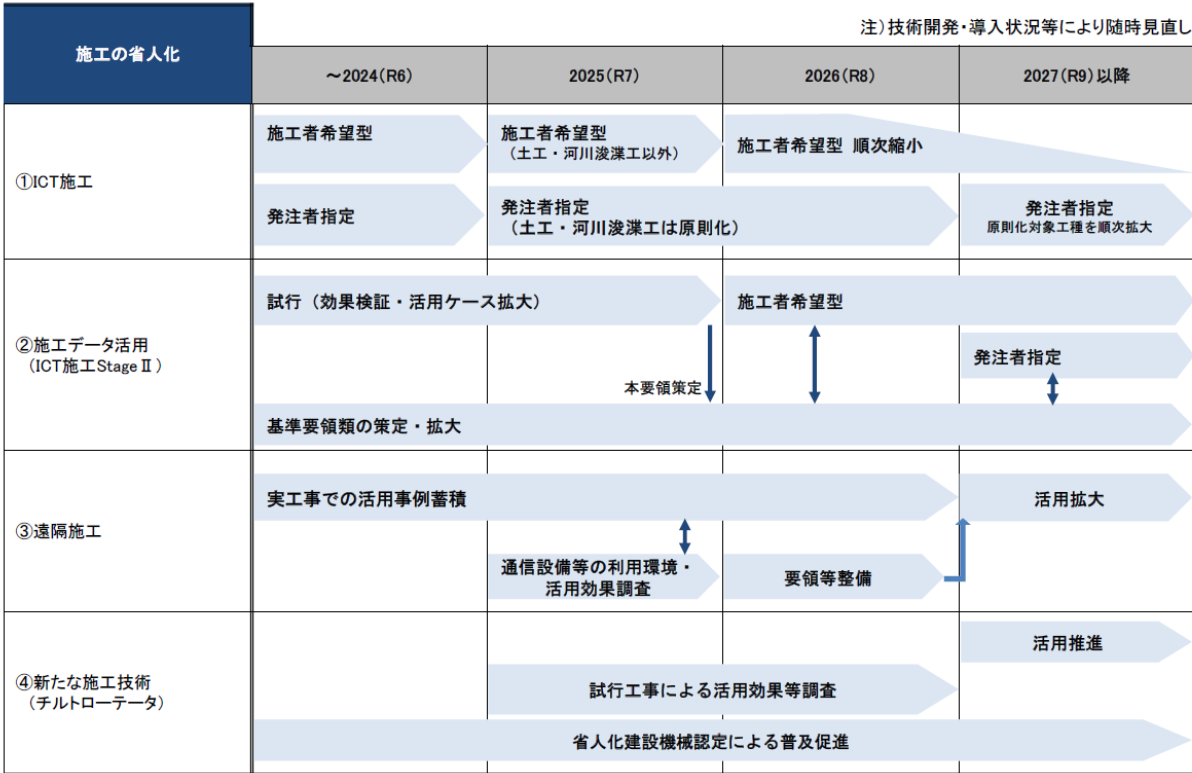
- ICT施工に関する状況報告
- ロードマップ案について
- ICT 施工の技術基準類拡大について

主な内容

- ICT施工の実施状況、中小建設業への普及拡大に向けた取組
- ICT施工、ICT施工Stage II、遠隔施工、新たな施工技術(チルトローテータ)のロードマップ
- ICT施工Stage II の活用効果
- ICT施工の基準類拡大に向けた本年度の取組方針

施工のオートメーション化 ロードマップ(案)

国土交通省



関連リンク・参考資料

- 建設施工・建設機械:ICT導入協議会 - 国土交通省

概要

DXによる働き方の改革を推進することを目的に、「建設施工における現場作業支援のDXに関するWG」を6月30日に開催しました。産官学の関係者が集まり、人間拡張技術(アシストスーツ、XRなど)の現場作業員への導入に向けて議論しました。

主なポイント

- 人力作業を支援するアシストスーツについて、R4年度に策定した事例集を通じて、更なる建設現場への導入を促進
- 視覚や判断の補助を行うXR(AR, MR、VR)の視覚拡張技術を建設現場へ導入
- UAVを現場作業従事者の視覚拡張支援として、建設現場のニーズに合った形で建設現場へ導入

会議の内容

- アシストスーツ:昨年度に引き続き、適合の可能性が見込まれる作業について、現場での実証を実施
- XR:地元建設企業が簡単に活用が可能になるガイドの作成
- UAV:最近の動向・事例の調査

1. 5. パワーアシストスーツの種類

国土交通省

- 動力有無、助力素材の違い、助力部分の違う複数のPASが市販または実装に向けた開発がされています。
- 現状はパッシブ、アクティブ共に持ち上げ時の腰部を補助するものの種類が多くなっています。
- 各PASの概要は「PAS概要」にて示しています。 ※令和3年度技術公募に応募があり、現場検証の対象となったPASを掲載しています。



パワーアシストスーツ現場検証事例集より⁵

関連リンク・参考資料(等)

- [建設施工における人間拡張技術の導入 - 国土交通省](#)
- [パワーアシストスーツ現場検証事例集](#)